

論文審査の要旨

博士の専攻分野の名称	博 士 (保健学)	氏名	辰己 俊見
学位授与の要件	学位規則第4条第1項該当		
論 文 題 目			
<p style="text-align: center;">介護ボランティア活用の可能性について ー要介護者・介護家族を地域で支える地域包括ケアシステムの視点からー</p>			
論文審査担当者			
主 査	教 授	岡 村 仁	印
審査委員	教 授	小 林 敏 生	印
審査委員	教 授	中 谷 久 恵	印
審査委員	教 授	花 岡 秀 明	印
審査委員	教 授	梯 正 之	印
〔論文審査の要旨〕			
<p>少子高齢化が急速に進む中、地域包括ケアシステムの構築が急がれている。本研究は、地域包括ケアシステムの構築の中で重要な役割が期待されているボランティアに関して、介護施設で活動中のボランティアを対象として、地域ボランティアへの展開可能性を、人的資源としての能力や育成の面から研究したものである。研究1では介護施設において活動しているボランティアや施設管理者を対象とした調査研究を、研究2では地域でボランティア活動を始めるための教育プログラムの試作と実施による効果評価を行っている。</p> <p>研究1では、2府県の介護施設合計791施設に質問票を送付し、(1)活動中のボランティアならびに(2)施設管理者に対する調査を行った。(1)の活動中のボランティアに対する調査票には、ボランティアを行っている者の活動動機や充実感のほか活動内容や教育などが含まれ、意欲や価値観、達成感や知識といった直接観察できない能力を含めた広い意味での保有能力について調査が行われた。活動中のボランティアから292名の回答が得られ、うち有効回答196名(回答中の有効回答率67.1%)を分析対象とした。回答者の記述統計的な事項を明らかにした後、探索的ならびに確証的因子分析を行った結果、9因子からなる保有能力の因子構造が得られた(AGFI=0.90, RMSEA=0.07)。(2)の施設管理者の調査については、186施設から回答が得られ、有効回答のうちからボランティアがいなかった35施設を除いた126施設分を分析対象とした(回答率23.5%, 有効回答率15.9%)。調査票か</p>			

ら各施設におけるボランティアの人数やボランティア活動の内容などを明らかにした後、教育の実態について評価した結果、教育は重要と考えられている（非常に重要／どちらかといえば重要が 70%以上）にもかかわらず、必ずしも実施されていない（実施 5%、検討中 16%）ことが明らかとなった。

研究 2 では、介護施設で働くボランティアが、地域でボランティア活動を始めするために必要な教育プログラムの試作と実施による効果評価を行った。予備的な調査として、(1) 既存の教育内容等に関する調査と、(2) 介護ボランティアや介護施設関係者が興味・関心と必要性を感じている項目について調査し、それらを踏まえて(3) 教育プログラムの試作と実施、効果評価を実施した。試作されたプログラムは、ボランティアの役割、高齢者・認知症の特徴、コミュニケーション、感染症、家族支援の方法の 5 項目からなり、それぞれに目標とねらいを定め、その目標とねらいに応じた教育方法（講義あるいはワークショップ）を作成した。1 講義 40 分程度とし、1 日で修了できるものとした。この教育プログラムを 5 地域で実施し、合計 160 名の参加を得た。教育効果の評価については、教育プログラムの実施前、実施直後、実施 3 か月後の 3 回、既存の尺度を使用して、社会的スキル（対人関係を円滑にする能力）、コミュニケーションスキル（関係者間で対話や論議を続ける能力）、援助成果（活動達成にともなう肯定的感情の獲得）の 3 項目について測定を行った。Wilcoxon の符号付順位検定の結果から、すべての地域・項目で実施直後は実施前と比べ有意な向上を認め ($P < 0.05$)、3 か月後もそれが維持されていた。地域によっては、これらの教育プログラムの実施が契機となり、身体的清拭用の古布のリサイクル活動や一人暮らしの高齢者の見守りネットワーク活動などの具体的な取り組みとして広がり、新聞で紹介されるなど社会的な関心も集めるに至った。

一連の研究で、介護施設で活動するボランティアが、意欲などの面も含めて、地域で活動するボランティアとしての能力を十分保有し、一定の教育プログラムの下で実際にその能力が活かされることが示された。以上、本論文は、介護施設で活動するボランティアに対して、地域包括ケアシステムの枠組みの中で活動する地域ボランティアに展開する可能性を示したものとして、今後の地域保健医療福祉の推進に大きく貢献する研究として高く評価される。よって審査委員会委員全員は、本論文が著者に博士（保健学）の学位を授与するに十分な価値のあるものと認めた。